

## 第77回入学式 式辞

桜の花が満開です。

本日ここに、令和4年度入学式を挙行できますことは、教職員並びに在校生にとってこの上ない喜びです。

新入生のみなさん、入学おめでとう。

保護者の皆様方、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

私から新入生のみなさんに伝えたいエピソードがあります。

陸上競技マイル走（1600m走）の世界記録の話です。

1923年に出された世界記録は4分10秒3、この世界記録は37年振りに更新された驚異的な記録でした。

そんな当時、世界中の誰もが、マイル走で4分を切るのは不可能だと信じ込んでいました。陸上競技の専門家は勿論、医師でさえ、人間が1600mを4分以内に走り切ることは健康に害を及ぼすと公言していました。

ところが、それから31年を経た1954年、オックスフォード大学医学部の学生だったひとりの青年が、この記録を塗り替えたのです。

彼の名は、ロジャー・バニスター。

彼は、一流のアスリートではありませんでしたし、魔法の靴を履いていたわけでもありません。彼が、他の選手と違っていた点はたった一つ。それは、決して諦めなかったことです。

その当時、不振に喘いでいた彼は、種目をマイル走一本に絞り、4分の壁を破ることを目標に決めました。

その日から、自分自身を被験者として科学的なトレーニング法の研究に没頭したのです。来る日も来る日もハードなトレーニングを積み重ね、遂に目標を達成しました。

話は、これでおしまい・・・ではありません。

何と、バニスターが4分を切った直後から続々と4分を切る選手が現れたのです。

みなさんは、なぜ、このようなことが起こったと思いますか？

バニスターが「1マイルを4分以内に走り切ることは人間には不可能」という固定観念を打ち砕いたからです。

不可能という思い込みが1マイル4分の壁を作っていたということになります。

さて、今日からみなさんは三国丘高校の生徒です。

本校には、SSHやSGHを中核として、みなさんの夢や志を支援する取組がたくさんあります。

アメリカ航空宇宙局（NASA）やフロリダ工科大学、リーハイ大学や国連での海外研修をはじめ

め、「科学の甲子園」など理科や数学の知識を競う大会、ソーシャルビジネスプランを競うコンテストへの挑戦などがそれにあたります。

これらは全て、みなさんをもう一人のバニスターにする仕掛けです。みなさんが持っているのは無限の可能性です。

もし、あなたの心の中に僅かでもネガティブな固定観念や思い込みを見つけたら、即座に捨て去ってください。

我々教職員は、みなさんの中に限界を探すことはしません。

その結果として、この春、本校はSSH第3期めの指定を受けることができました。これまでの活動の成果が認められたということです。

また、本年6月には、SGHの班が日本代表として国際大会に出場し、ヨーロッパの高校生とビジネスプランを競います。

入部率が95%を超える部活動においても、陸上部の全国大会出場や水泳部、ソフトテニス部の近畿大会出場など、近年、輝かしい活躍が続いています。

このように、探究活動や部活動に励む中でも、この春の大学入試では、大阪大学への合格者が71名を数え、何と全国第1位という素晴らしい報告に接することができました。

三国丘高校は、知・徳・体の調和のとれた真のグローバルリーダーの育成を教育目標とする学校です。

テストで計ることができる狭義の学力の向上に汲々としてすることなく、広い視野を持ち、多様な価値観で、自らのアイデンティティを確立してほしいと願っています。そのためには、まず、社会に貢献する将来の自画像を具体的に描くことです。

私は、校長として、今日からあなた方を我が子だと思うことにします。親の心で、叱る時は叱り、褒める時は思いっきり褒めたいと思います。

3年後の春、みなさんが逞しく成長して三国丘高校を卒業する姿が今から楽しみです。

君たちの人生に途轍もなく大きな意味を持つこの三年間の青春が光り輝くことを祈念して式辞といたします。

令和4年4月5日

大阪府立三国丘高等学校長 藤井 光正